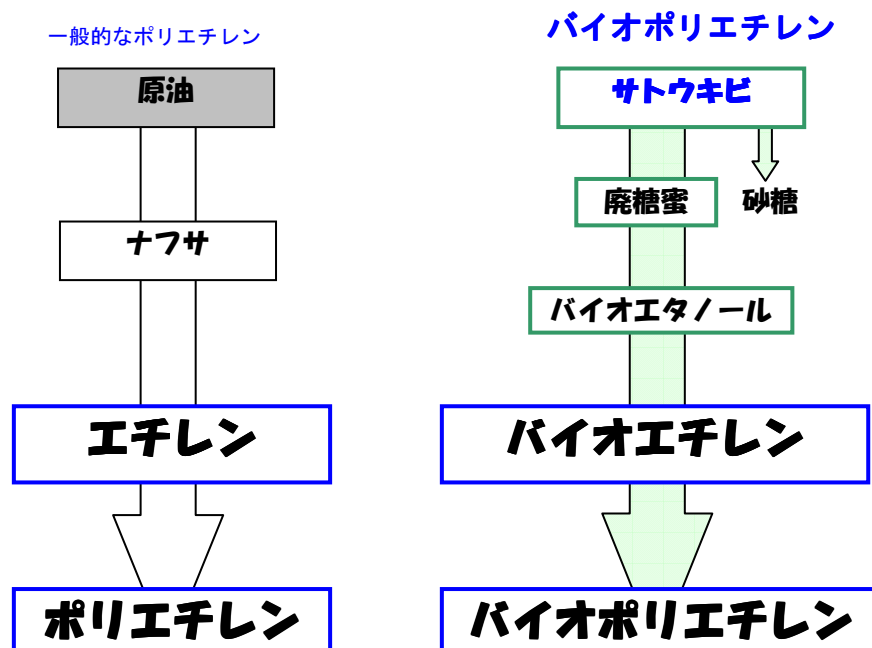


バイオポリエチレンについて

1. バイオポリエチレンの製造の工程

サトウキビの搾り汁から砂糖を取り出したあとの残液（廃糖蜜）を発酵させてバイオエタノールが作られ、そこから取り出したエチレンを基礎原料としてバイオポリエチレンが作られます。

砂糖を取り出したあとの残液を使うので食料と競合することなく、また森林を新たに切り開いて生態系を破壊することもない、というメリットがあります。



2. 温室効果ガス（CO₂）削減効果

バイオPEのライフサイクル評価に関する調査結果によると、ブラジルにて製造後、日本に輸送し、容器として使用したのち、最終的に焼却処分した場合、従来の石油由来PEと比較してCO₂排出量が70%強少ないことがわかりました。（東京大学、豊田通商、ブラスケン社）

3. 植物度

植物度とはプラスチック成形材料に含まれる植物由来樹脂の割合です。今回材料として採用するバイオPE（SGF4950）は植物度96%です。ブラジルの最大手化学メーカーのブラスケンが昨年、世界初の商業生産を開始しました。

4. 性能（耐熱性、耐衝撃性、加工性など）

性能は従来PEとほぼ同等です。
耐内容物テストは必ず行って下さい。